

百六十五條ニ被告入ハ公庭ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナ
 シ但守奉ヲ置クコアルヘシト云フニ基ケルナリ

明治十四年十月六日
 太政官布告第五十三號

各裁判所ノ位置及管轄ノ區畫別表ノ通改正シ明治十五年一
 月一日ヨリ施行候條此旨布告候事

治罪法第三十二條ニ裁判所ノ位置及ヒ管轄ノ區劃ハ司法卿
 ノ奏請ニ因リ上裁判ヲ以テ之ヲ定ムトアリ即チ此布告ニヨ
 リ左表ノ如ク位置區劃ヲ定メラレルナリ

裁判所一覽表

大		控訴	始審	治安								府縣	國名	區郡名											
東京				日本橋區	京橋區	下谷區	淺草區	麴町區	四谷區	芝區	本郷區	本所區	東京府	武藏	日本橋區 京橋區ノ内	京橋區ノ内	下谷區 神田區ノ内 北豐嶋ノ内	淺草區 本所區ノ内 南足立 南葛飾ノ内	北豐嶋ノ内	麴町區 神田區ノ内 牛込區 南豐嶋ノ内	四谷區 赤阪區 東多摩 南豐嶋ノ内	芝區ノ内 麻布區 荏原ノ内 南豐嶋ノ内	本郷區 小石川區 神田區ノ内	北豐嶋ノ内	本所區ノ内 深川區 南葛飾ノ内

裁											訴																						
甲府		滋松		静岡		前橋		熊谷		浦和		甲府		掛川		沼津		下田		静岡		太田		高崎		前橋		大宮		熊谷		浦和	
山梨縣		静岡縣		静岡縣		群馬縣		埼玉縣		埼玉縣		甲斐		遠江		伊豆河		伊豆		駿河		上野		武藏		武藏		下總		下總			
南都留		西山梨		東八代		北東		巨摩		城東		佐野		榛原		山名		周知		豐田		磐田		長上		敷知		引佐		駿東		富士	
那加		加茂		内		庵原		有渡		安部		志田		益津		新田		山田		邑樂		東群馬		北勢		多佐		位那		波利		根	
秩父		北足立		新庄		入間		高麗		南埼玉		北葛飾		北埼玉		比企		男衾		横見		大里		榛澤		藤羅		兒玉		賀美		那賀	

控											京																																				
宇都宮		栃木		土浦		水戸		木更津		千葉		横濱		品川		横濱		小田原		八王寺		千葉		八日市場		木更津		水戸		土浦		下妻		栃木		宇都宮											
栃木縣		栃木縣		茨木縣		茨木縣		千葉縣		千葉縣		神奈川縣		下野		下野		下常陸		下常陸		常陸		安房		上總		上總		下總		下總		相模		相模		武藏									
河内		芳賀		鹽谷		那須		下野		上野		猿嶋		結城		岡田		豐田		西葛飾		東茨城		那珂		久慈		多賀		鹿島		内		新治		筑波		河内		信太		行方		鹿嶋		内	
芝區		内荏原		内		横濱區		久良岐		橘樹		都筑		三浦		鎌倉		高坐		足柄上		足柄下		大住		陶綾		愛甲		津久井		西多摩		下堀		生千		葉印		幡南		相馬		東葛飾			

大				所			
園部	大阪	京都	相川	高田	長岡	柏崎	六日町
園部	天王寺	本町	伏見	下京	上京	相川	糸魚川
京都府	大阪府	京都府	新瀉縣	新瀉縣	新瀉縣	越後	佐渡
丹波	攝津	攝津	攝津	山城	越後	越後	越後
船井	南島田	交野	南河	西成	東區	成ノ内	東區
船井	南島田	交野	南河	西成	東區	成ノ内	東區

判											
新發田		新瀉	上田	長野	松本						
長岡	村上	新發田	新瀉	岩村田	上田	飯山	長野	福嶋	大町	上諏訪	飯田
新瀉縣		新瀉縣	長野縣	長野縣	長野縣						
越後		越後	信濃	信濃	信濃						
古志		北魚沼	三嶋	刈羽	東巨摩ノ内 南安曇ノ内 上伊那ノ内						
古志		北魚沼	三嶋	刈羽	上伊奈ノ内 下伊奈ノ内						
古志		北魚沼	三嶋	刈羽	上伊奈ノ内 諏訪						
古志		北魚沼	三嶋	刈羽	東筑摩ノ内 南安曇ノ内						
古志		北魚沼	三嶋	刈羽	西筑摩ノ内						
古志		北魚沼	三嶋	刈羽	上水内ノ内 上高井 更級ノ内 埴科ノ内						
古志		北魚沼	三嶋	刈羽	下高井 上水内ノ内 下水内						
古志		北魚沼	三嶋	刈羽	小縣 埴科ノ内 更級ノ内						
古志		北魚沼	三嶋	刈羽	南佐久						
古志		北魚沼	三嶋	刈羽	新瀉區 西蒲原 中蒲原 南蒲原						
古志		北魚沼	三嶋	刈羽	北蒲原						
古志		北魚沼	三嶋	刈羽	岩船						

裁											訴			
堺	七尾	富山	金澤	福井	彦根									
堺	輪	七尾	魚津	富山	高岡	小濱	金澤	大野	福井	敦賀	彦根	小濱		
大坂府	石川縣	石川縣	石川縣	石川縣	福井縣	福井縣	滋賀縣	福井縣						
河和內泉	能登	越中	越中	加賀	越前	若狹	近江	若狹						
丹北丹南八上 古市石川綿部	珠洲鳳至	鹿嶋羽昨	下新川	上新川 射水ノ内 庄川以東	射水ノ内 礪波ノ内 庄川以西	能美江沼	金澤區河 石川	大野	南條今立 丹生吉田 坂井足羽	敦賀三方	神崎愛知 犬上坂田 伊香	遠敷大阪 東淺井		

控											坂			
大津	津山	岡山	洲本	豐岡	姫路	神戸	宮津							
大津	津山	高梁	玉嶋	岡山	洲本	豐岡	姫路	篠山	明石	神戸	宮津	福知山		
滋賀縣	岡山縣	岡山縣	兵庫縣	兵庫縣	兵庫縣	兵庫縣	兵庫縣			京都府				
近江	美作	備中	備前	備前	淡路	但馬	播磨	丹波	播磨	攝津	丹後			
滋賀野洲 甲賀栗太 蒲生高嶋	全國十二郡	上房阿賀 哲多川上	小田後月 下道窪屋 淺口	岡山區 全國八郡 加陽宇都	全國二郡	全國八郡	多可加西 印南神東 神西赤穂 佐用宍粟 揖東揖西 赤穂	多紀氷上	明石美薺 加東加古	神戸區八郡 菟原武庫 川邊有馬	全國五郡	天田何鹿		

審									
所					判				
松山	高松	中村	高知	脇田	德嶋	田邊	和歌山	奈良	奈良
大洲	西條	松山	丸龜	高松	中村	高知	脇田	德嶋	田邊
愛媛縣	愛媛縣	高知縣	高知縣	德嶋縣	德嶋縣	和歌山縣	和歌山縣	大坂府	大坂府
伊豫	讚岐	土佐	土佐	河波	阿波	紀伊	紀伊	大和	大和
喜多	西宇和	宇磨	新居	周布	桑村	越智	野間	久米	鳳早
大内 寒川 三木 山田 香川 阿野ノ内 小豆 那珂 多度 三野 豊田 鶴足 阿野ノ内 野間 久米 鳳早 上 浮穴 和氣 伊豫 温泉 宇磨 新居 周布 桑村 越智 日高 東 牟婁 名東 名西 勝浦 那賀 海部 坂野 美馬 三好 麻植 阿波 安藝 香美 長岡 土佐 吾川 高岡 幡多 添上 添下 山邊 平群 式上 式下 十市 廣瀬 宇陀 高市ノ内 葛下ノ内 宇智 吉野 葛上 忍海 高市ノ内 葛下ノ内 和歌山區 伊都 那賀 名草 海部 有田									

名古屋									
所					判				
名古屋	岡崎	豐橋	安濃津	四日市	上野	山田	岐阜	大垣	御嵩
名古屋	一ノ宮	岡崎	豐橋	安濃津	四日市	上野	山田	岐阜	大垣
愛知縣	愛知縣	愛知縣	三重縣	三重縣	三重縣	三重縣	岐阜縣	岐阜縣	岐阜縣
尾張	三河	伊勢	伊勢	伊勢	伊勢	伊勢	美濃	美濃	美濃
東南 宇和	名古屋區	愛知ノ内	西 春日 井	海東 海西	知多	愛知ノ内	丹羽	環粟 中嶋	額田
額田 碧海 幡豆 東 加茂 八名 南 設樂 室飯 渥美 河曲 鈴鹿 奄藝 安濃 飯高 一志 飯野 南 牟婁 桑名 員部 朝明 三重 全國四郡 多氣 度會 谷志 黃旗 厚見 羽栗 各務 中嶋 方縣 山縣 武儀 郡上 益田ノ内 海西 若津 多藝 不破 本巢 席田 安八 池田 大野 加茂 可兒 土岐 惠那									

		長		崎		長			
			長崎						
			長崎縣						
			肥前						
			肥前						
			長崎區 北高來 東彼杵 西彼杵ノ内						
			南高來						
			長崎縣 三根 神崎 佐賀 小城						
			東松浦 西松浦 北松浦 全國二郡						
			南松浦 西彼杵ノ内						
			全國二郡						
			福岡區 席田 粕屋 宗像 穂波 早良 嘉麻 上座 下座 夜須 新笠 志摩 怡土 那珂						
			全國十郡						
			全松田川 京畿 中津 筑城 上毛 遠賀 鞍手						
			大分 北海部ノ内 大野ノ内 速見ノ内						
			南海部 北海部ノ内 大野ノ内						

		廣		嶋		控		詔		裁		判		所	
			廣嶋												
			廣嶋縣												
			安藝												
			安藝												
			大野 吉城 益田ノ内												
			廣嶋區 沼田 安藝 佐伯 山縣 高宮 加茂 豐田												
			高田 三谿 奴可 三上 三吹 惠蘇												
			御調 甲奴 世羅 深津 品治 沼隈 蓋田 安那 神石												
			都濃 佐波 吉敷 美彌												
			熊毛 大嶋 玖珂												
			赤間關區 厚狹 豐浦												
			大津 阿武 見嶋												
			大原 意字 能義 秋鹿 嶋根 仁多												
			神門 出雲 備前 飯石												
			全國六郡												
			全國六郡												
			全國八郡												

訴 裁 判 所												
大分		中津		熊本			天草		鹿兒嶋		大島	
竹田	杵築	中津	豆田	熊本	山鹿	八代	八吉	天草	鹿兒嶋	水引	大島	
大分縣		大分縣		熊本縣			熊本縣		鹿兒嶋縣			
豐後		豐前		肥後		肥後		薩摩		薩摩		大隅
直入大野ノ内		西國東速見ノ内		下毛宇佐		玖珠日田		熊本區飽田託摩宇土合志		山鹿山本菊池玉名		八代蘆北
								天草		鹿兒嶋日置ノ内		大島
								求麻		川邊谷		大島
								給羅		薩摩高城		大島
								薩摩		薩摩		大島
								大島		大島		大島

宮 城 控										
宮崎		仙臺			福島		白川		若松	
宮崎	都城	延岡	仙臺	古川	石巻	大河原	福嶋	中村	白川	若松
鹿兒嶋縣		宮城縣			福嶋縣		福嶋縣		福嶋縣	
日向		陸前		磐城		磐城		磐城		越後
宮崎 兒湯 諸縣ノ内		那珂ノ内		白杵		仙臺區 宮城 名取 黒川		志田 加美 玉造 栗原		桃生 牡鹿 登米 本吉 遠田
						柴田		刈田 伊具 亘理		伊達ノ内
						信夫		田村ノ内		宇多 行方
						東白川 石川		西岩瀨 安積ノ内		磐前 磐城 檜葉 菊田 標葉 田村ノ内
						南會津		北會津		那麻 河沼 大沼 安積ノ内

刑治罪法註解大成附録

函館								控訴			裁判所	
函館								弘前			八戸	
函館	江刺	福山	壽都	弘前	青森	五所河原	八戸	青森縣			八戸	
開拓使								青森縣			青森縣	
渡鵜振								陸奥			陸奥	
函館區龜田上磯芽部								鳴牧壽部歌楽機谷			三戸上北ノ内	
檜山爾志								西中津輕			北津輕	
久遠太櫓瀬棚奥尻								東津津下北上北ノ内			三戸上北ノ内	
松前								南中津輕			三戸上北ノ内	

審										
裁判所										
米澤	山形	酒田	盛岡	磐井	秋田	大曲	大曲	大曲	秋田	米澤
米澤	山形	酒田	盛岡	磐井	秋田	大曲	大曲	大曲	秋田	米澤
山形縣	山形府	山形縣	岩手縣	岩手縣	秋田縣	秋田縣	秋田縣	秋田縣	秋田縣	山形縣
羽前	羽前	羽前	陸奥	陸奥	陸奥	陸奥	陸奥	陸奥	陸奥	羽前
東西直賜	東北村山	最上	北九戸西閉伊	東磐井膽澤江刺	川邊南秋田	由利	山本北秋田	仙北平鹿滙勝	陸奥	羽前
東和賀	紫波稗貫	東和賀	北岩手	西磐井	南秋田	由利	山本北秋田	仙北平鹿滙勝	陸奥	羽前

明治十四年十月六日

太政官布告第五十四号

刑法治罪法實施ノ儀布告候ニ付テハ當分ノ内輕罪ニシテ檢察官ニ於テ豫審ヲ要セスト見込モノニ限リ始審裁判所處在ノ地ヲ除クノ外治安裁判所ニ於テ輕罪裁判所ヲ開キ其裁判ヲ爲スヲ得ヘシ此旨布告候事

但本文ノ場合ニ於テ訟庭内治罪ノ手續ハ便宜可取計且其手續上ニ付テハ上訴ヲ許サス

檢察官ニ於テ豫審ヲ要セスト見込ム輕罪事件ハ始審裁判所
檢案官ニ於テ豫審ヲ要セスト見込ム輕罪事件ハ始審裁判所
之レナキ地ニ限リ當分ノ内其地ノ治安裁判所ニ於テ之レ
或判スルヲ得ルナリ此場合ニ於テ訟庭内審判ノ手續ハ
便宜ノ取計ヲ爲シ其手續上治罪法ニ違フト雖モ上訴ヲ爲ス
ヲ許サ、ルナリ

明治十四年十月六日

太政官布告第五十五号

治罪法第七十三條末文陪席判事第七十九條第二項補充判事ノ儀當分其裁判所又ハ院長ノ臨時指定スル所ニ任シ候條此旨布告候事

治罪法第七十三條重罪裁判所ノ陪席判事ハ始審裁判所ニ於
テ開クハ其裁判所長及刑務局長ノ任ノ事ニテ之ニ充ツトア
リ又第七十九條大審院判事ノ任ノ事ニテ之ニ充ツトア
事任ノ順序ニ依リ其職務ヲ行フ事ニテ之ニ充ツトア
其開庭ヲ爲シ裁判所長又ハ大審院長ノ指定ニ任カスルナリ

明治十四年十月八日

太政官布告第五十九号

治罪法中豫審判事勾引狀ヲ發シ勾引セシメタル被告人ハ時宜ニ依リ其訊問期限四十八時間ニ在ル夜間ニ限リ裁判所又ハ最寄警察署留置場ニ入置クヘシ此旨布告候事

治罪法第百二十二條ニ勾引狀ヲ以テ引致シタル被告人ハ四
十八時間内ニ之ヲ訊問スヘシ云々トアリ其時間ハ四ヨリ公
庭又ハ和所ニ在ラシムルヲ以テ當然ト爲ヒトモ只夜間ニ限
リ其裁判所又ハ最寄警察署ノ留置場ニ入レテクナリ

明治十四年十月十日

司法省甲第五号

新法實施ノ後ハ司法警察事務上時宜ニ依リ巡査ヲシテ警部
ノ代理ヲ爲サシムル義モ可有之候條此旨布達候事

巡査ハ警部ノ指揮ヲ受ケ其使役ニ供スルノ事ヲ行フ可ラス然レトモ特
ニキニヨリ因ヨリ司法警察官ノ事ヲ行フ可ラス然レトモ特
宣ニヨリ止ヲ得サル場合ニ於テハ警部代理ト爲シ司法警察
官ノ事務ヲ攝行セシムルヲ得ルナリ

明治十四年十月十日

司法省丙第十三號

新法實施ノ後ハ司法警察事務上時宜ニ依リ不得止場合ニ於

テハ巡査ヲシテ警部ノ代理ヲ爲サシメ不苦候條此旨相達候
事

但代理人ヲ命スヘキ巡査ノ姓名ハ豫シメ其地方輕罪并違
警罪裁判所エ通牒致置候儀ト心得ヘシ

前條布達ノ趣意ヲ警視及ヒ地方官ニ達セラレタル者ニテ豫
シノ其代理ヲ命スヘキ巡査ノ姓名ヲ裁判所ニ通知シ置カシ
ムル者ハ裁判所ヲシテ其警部代理タル者ト否トヲ識別セシ
ムル事務上差支勿ラシメカ爲メナリ

明治十四年十月二十日

司法省丁第十八号

書記局其他訟廷等ノ心得書別紙ノ通達候事

書記局其他訟廷等ノ掌務心得書

第一條 書記局諸般ノ事務ハ各員輪轉之ヲ執リ豫メ其主掌

ヲ定メス

第二條 訟廷ノ取締被告人扣所ノ看守ハ巡查獄卒等ヲシテ之ヲ掌ラシムヘシ

第三條 訴訟口請ハ雇員ヲ以テ之ニ充テ訴訟人呼入其他訟廷ニ關スル雜事ノ使用ハ小使ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第四條 門候ヲ置クト否トハ其廳ノ便宜ニ任ス若シ之ヲ置クトキハ雇員又ハ小使ヲ以テ之ヲ掌ラシムヘシ

但東京各裁判所ハ此限ニ在ラス

第五條 宿直ハ等外吏雇員等ニテ之ヲ務メシメ在宅當番退廳後ヲ云フハ判任官ニテ順次之ヲ務メシムヘシ

但東京裁判所ハ此限ニ非ス

明治十四年十一月十五日

司法省丁第二十一號

法律上判事檢事書記等署名捺印ヲ要スル節相用フヘキ印章ハ左ノ雛形ニ照シ名自彫刻シ費用ハ官費支拂ニ相立候儀ト可心得此旨相達候事

官	氏
名	

勅任方九分 曲尺

奏任方七分 全

判任方六分 全

書記ハ裁判所書記某ト刻ス字依ハ篆楷適宜タルヘシ但認メ易キヲ要ス

明治十四年十二月二日

司法省甲第七号

治罪法第三百十五條裁判言渡ノ謄本又ハ其拔書ヲ求ムル者ハ其用紙一枚金三錢ノ費用ヲ上納スル儀ト可心得此旨布達候事

治罪法第三百十五條ニ據ルニ裁判書ノ謄本ハ當然下附セラ
ルヘキ者ニ非ラスシテ只訴訟關係人ノ請求ニヨリテ下附セ
ラレハキ者ナリ而テ其之ヲ下附スルハ公益ノ爲ニ非ラスシテ獨
リ請求者ノ利益ノ爲メニスル者ナルヲ以テ其費用ハ之ヲ請
求者ヨリ徴収スルナリ

明治十四年十二月二日

司法省甲第八号

大審院諸裁判所々屬代言人規則別紙ノ通相定候條此旨布達候事

所屬代言人規則

第一條 治罪法中所屬代言人ト稱スルハ大審院及ロ各裁判

處所在ノ地ニ住居スル免許代言人ヲ云

第二條 裁判官ノ職權ヲ以テ選任シタル代言人辯護人ハ正

當ノ專由ヲ證明スルニアラサレハ之ヲ辭スルヲ得ス

第三條 代言又ハ辯護受任中代言免許満期ニ至リ引續營業

セス又ハ發業スト雖モ該事件終結ニ至ルマテ其代言辯護

ヲ擔當スヘシ

第四條 代言又ハ辯護受任中ハ他ノ訴訟事件ヲ以テ其任ヲ

關クヲ得ス

第五條 裁判官ノ職權ヲ以テ代言人辯護人ヲ選任シタル場

合ニ於テモ其謝金ハ被告人之ヲ擔當スヘシ總テ謝金ニ付

テハ出訴スルヲ許サス

明治十四年十二月五日

司法省丙第十五号

治罪法實施ノ上ハ豫審判事檢事檢證及ヒ物件差押ノ事件ニ付急迫ヲ要スル場合直ニ巡查ヲ同行シ又ハ所在ノ巡查ヲ使
用スル儀モ可有之候條豫テ可達置此旨相達候事

明治十四年九月二十日太政官第八十二号達ニヨレハ司法官
吏ヨリ巡查及ヒ兵員ヲ要求使用スルニハ警察署又ハ憲兵屯
營ニ照會シテ云々トアレモ豫審判事檢事檢證及ヒ物件差
押ノ事件ニ付急迫ヲ要シ警察署ニ照會ヲ爲スノ違アラサル
第ハ直ニ巡查ヲ同行シ又ハ其場所ニ居ル巡查ヲ見當リ次
第使用シテモ苦シカラルナリ

明治十四年十二月五日

司法省丙第十六号

治罪法中犯人證人等押印ノ條々實印無之者ニ限り從來ノ慣
例ニ依リ拇印爲致候儀ト心得ヘシ此旨相達候事

治罪法ニ從ヒ押印ヲ爲スルハ實印ヲ押スヘキヲ勿論ナレト
モ實印無之者ニ限り拇印ヲ以テ實印ニ代用セシムルナリ

明治十四年十二月五日

司法省丁第廿六號

使丁規則別冊之通相定候條明治十五年一月一日ヨリ施行ス
ヘク此旨相達候事

使丁規則

第一條 各裁判所書記局ハ刑事民事ニ關スル召喚狀其他書
類ヲ送達セシムル爲メ其請負人ヲ定メ之ヲ使丁取締トス
使丁取締ハ一人トス但場所ニ因リ二人以上ヲ命スルコトアル可シ
第二條 使丁ハ使丁取締之ヲ撰ヒ其氏名ヲ書記局ニ届出鑑
札ヲ受ルモノトス使丁ノ人員ハ使丁取締適宜之ヲ定メ書

記局ノ許可ヲ受ク可シ

第三條 使丁取締ハ送達ノ事ニ付總テ其責ニ任スルモノトス

第四條 使丁取締ハ常ニ裁判所ニ在テ送達ノ事ヲ取扱フ可シ

第五條 使丁ハ送達ヲ爲ス時裁判所ノ鑑札ヲ帶行ス可シ

第六條 送達ヲ爲スニハ其法律規則ニ從フ可シ

第七條 使丁取締及ヒ使丁ハ訴訟ニ付代人トナリテ訟庭ニ出ルコトヲ許サス

第八條 送達ノ事ニ關シ他人ニ損害ヲ被ラシメタルキハ使

丁取締其償ヲ擔當スヘシ但使丁ノ過失懈怠ニ由ルキハ使

丁取締ハ之ニ對シ更ニ其償ヲ求ムルコトヲ得

第九條 送達賃錢ハ書類ノ大小ニ拘ハラヌ一通ニ付一里五

錢以下トス賃錢ノ定限ハ使丁取締之ヲ申立書記局之ヲ決

シ且送達書ニ其賃錢高ヲ附記スヘシ

第十條 賃錢ノ定限ハ其取扱所ニ貼示シ三日以上新聞紙ニ

掲載シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ公告ス可シ

第十一條 刑事ニ付テノ送達賃錢ハ其送達ヲ受ルモノヨリ

之ヲ拂置ク可シ但左ノ場合ニ於テハ書記局ヨリ之ヲ拂置

ク可シ

一 檢察官又ハ裁判官ヨリ呼出ス證人鑑定人通事ノ呼出狀

二 檢察官ノ控訴申立ヲ被告人ヘノ通知及ヒ呼出狀

三 檢察官ヨリ被告人ヘ送達スル上告申立書及趣意書

第十二條 刑事附帶ノ私訴及ヒ民事ニ付テノ送達賃錢ハ總

テ其送達ヲ請求スル者ヨリ之ヲ拂フ可シ

第十三條 送達賃錢ニ付テノ訴訟ハ其書類ヲ發シタル裁判所ニ之ヲ爲ス可シ

第十四條 使丁取締ハ書類送達ヲ正實ニ取扱フ可キ旨ノ書面ヲ書記局ニ差出ス可シ

第十五條 使丁取締及ヒ使丁此規則ニ違背シタルキ裁判所書記局ハ使丁取締ニ左ノ條件中ニテ相當ノ言渡ヲ爲スヘシ

一 貳十圓以下ノ違約金ヲ納メシムル事

二 解職セシムル事

三 事情重キ者ハ違約金ヲ納メ解職セシムル事

第十六條 使丁取締タルニハ其裁判所々在地ニ家屋ヲ有シ滿二十一歳以上ノ者ニシテ書記局ノ試験ヲ經ルヲ要ス

使丁取締タルニハ身元保証トシテ金五十圓以上ノ價格アル公債証書地券又ハ銀行其他官許アル株券証書ヲ書記局ニ納ムヘシ但此保証金ハ解職ノ時下戻ス可シ

第十七條 試験ハ書記二名以上ニテ之ヲ爲ス可シ但書記不足ナルキハ雇ヲ以テ之ニ充ツヘシ

試験ノ科目ハ左ノ如シ

一 使丁規則

二 請負郡村ノ地名又ハ里數

三 普通書簡ノ書讀

第十八條 實決ノ刑ニ處セラレタル者及ヒ身代限ノ處分ヲ受ケ未タ辯償ヲ終ラサル者ハ使丁取締又ハ使丁タルヲ許サス

治罪法第二十二條ニ在ル處ノ書記局所屬ノ使了ナル者ハ此規則ニ依テ之ヲ命シ且職務ヲ取扱ハシムルナリ

明治十四年十二月九日
司法省丁第廿七號

本年第五十四號公布ニ依リ治安裁判所ニ於テ輕罪裁判所ヲ開シ其管轄輕罪裁判所ノ名稱ヲ用ヒ其印ヲ捺シ某治安裁判所ニ於テスルヲ附記スヘシ左ニ雛形相添ヘ此旨相達候事

書式雛形

於八王子治安裁判所

橫濱輕罪裁判所

印章雛形

橫濱輕罪
裁判所

明治十四年十二月十五日

右
奉勅旨布告候事

太政大臣
農商務卿
司法卿

明治十四年十二月十五日

太政官布告第六十五号

商船内犯罪取扱規則別紙ノ通制定ス

商船内犯罪取扱規則

第一條 何人タリトモ高船内ニ於テ重罪輕罪アルヲ認知シ又ハ重罪輕罪ニ因リ損害ヲ受ケタル者ハ船長ニ告訴告發ヲ爲スヲ得

第二條 船長告訴告發ヲ受ケタルキ又ハ重罪輕罪ノ現行犯アルヲ知リタルキハ其事件ニ付假ニ訊問檢証ノ處分ヲ爲シ且証憑及ヒ事實參考ト爲ハキ事物ヲ集取シ調書ヲ作ルヘシ但調書ヲ作ルヲ能ハサルキハ第三條ニ記載シタル官吏ニ其申立ヲ爲スヘシ前項ノ場合ニ於テハ立會人二名以上アルヲ要ス

第三條 船長ハ証憑及ヒ事實參考ト爲ルヘキ事物ヲ取纏メ被告人ト共ニ該船碇泊又ハ着港ノ地ノ檢事又ハ司法警察官ニ引渡スヘシ若シ外國ノ港埠ニ着シタルキハ其地駐劄

ノ領事ニ之ヲ引渡スヘシ

船内ニ於テ犯罪アルキ疾ク其處置ヲ行ハサレハ犯人逃走ハ海軍律ヲ以テ之ヲ處スヘキヲ論テ待テ船舶内ニ於テ犯罪シ於テ檢事ニ豫審ノ處分ヲ爲サシムルナリ若シ外國ノ港ニ着シタレバ其在留ノ日本領事ニ引渡スヘキ者トシテ其地駐劄ノ領事ニ之ヲ引渡スヘシ

明治十四年十二月十二日

司法省丁第廿八号

治罪法中ニ掲ケタル送達書呼出召喚狀勾引狀勾留
狀收監狀及宣誓書式別紙ノ通相定候條右ニ照準ス
可シ此旨相達候事

送達書

一送達スヘキ書名
一
一
一

右使丁ヲ以テ何府縣下何町又ハ何國
何郡何村何番地何某ヘ送達セシムル
者也

明治 年 月
何裁判
所之日
所之日

裁判所
書記氏名印

封印

同上畧之

受取人ノ署名
捺印若シ能ハ
サル時ハ其事
由

送達シタル
月日時

送達シタル
場所

親屬雇人若ク
ハ戸長ヘ書類
ヲ渡シタル時
ハ其事由

右致送達候也

使丁氏名印

是ヲ中斷シテ一葉ヲ受取人ニ渡シ
一葉ヲ書記局ヘ還納ス可シ

呼出狀

此呼出狀ハ出頭ノ節
書記局ニ差出ス可シ

右云々ノ事件ニ付證人トシテ相尋ル
儀有之來ル何日何時何所ニ出頭可致
者也

但同日時出頭セサルニ於テハ罰金
ヲ言渡シ且勾引狀ヲ發スルコトアル
可シ

明治 年 月 日
何裁判所
豫審判事
書記

受取人ノ署名
捺印若シ能ハ
サル時ハ其事
由

送達シタル
月日時

送達シタル
場所

親屬雇人若ク
ハ戸長ニ渡シ
タル時ハ其事
由

右之通取扱候也

明治 年 月 日
使丁氏名印

同上畧之

召喚狀

右ノノ事件ニ付訊問ノ筋有之
當裁判所ニ出頭可致者也

明治 年 月 日 時

裁判所

豫審判事 書記

受取人ノ署名
檢印若シ能ハ
サル時ハ其事
由

送達シタル
月日時

送達シタル
場所

親屬雇人若シ
ハ戸長へ書類
ヲ渡シタル時
ハ其事由

右之通取扱候也

明治 年 月 日

使丁

是ヲ中斷シテ一葉ヲ受取人へ渡シ

同上畧之

勾引狀

右ノノ事件ニ付訊問ノ筋有之當裁
判所へ勾引ス可キ者也
但本人潜匿シタル時ハ家宅ヲ搜索
ス可シ

明治 年 月 日 時

裁判所

豫審判事 書記

勾引シタル被
告人ノ署名捺
印若シ能ハサ
ル時ハ其事由

執行シタル
月日時

執行シタル
場所

執行ノ手續
家宅搜索ヲ爲
シタル時ハ其
由

勾引スルヲ能
ハサル時ハ其
事由

右ノ通取扱候也

明治 年 月 日

同上畧之

勾留狀

右ノ事件ニ付治罪法第二百二十六條ノ則規ニ從ヒ 監倉ヘ勾留ス可キ者也
但本人潜匿シタル時ハ家宅ヲ搜索ス可シ
明治 年 月 日 時
裁判所 豫審判事 書記

勾留シタル被 告人ノ署名捺 印若シ能ハサ ルハ其事由 執行シタル 月日時	執行シタル 場所	執行ノ手續 家宅搜索ヲ爲 シタル時ハ其 山	勾留スルコト能 ハサル時ハ其 事由
右之通取扱候也			
明治 年 月 日 時			

同上畧之

收監狀

右ノ事件ニ付取調ヲ爲シタル處
本罪刑法第 條ニ該ル可キ者ト思料
ス依テ檢事ノ意見ヲ聽キ
監倉ニ收監ス可キ者也
但本人潜匿シタル時ハ家宅ヲ搜索
ス可シ
明治 年 月 日 時
裁判所 豫審判事 書記

収監シタル被 告人ノ署名捺 印若シ能ハサ ルハ其事由 執行シタル 月日時	執行シタル 場所	執行ノ手續 家宅搜索ヲ爲 シタル時ハ其 山	勾留スルコト能 ハサル時ハ其 事由
右之通取扱候也			
明治 年 月 日 時			

同上畧之

宣誓書

何人ノ事件ニ付愛憎畏懼ノ
心ナク總テ正實ニ
シテ誓フ

明治 年 月 日

証人

氏

名

印

明治十四年十二月十四日

司法省丁第三十号

裁判所印章ノ儀來明治十五年一月一日以後左ノ通改定候條
各廳ニ於テ調製シ印鑑ヲ以テ可届出此旨相達候事

方 山 一 尺 一 寸 五 分

何人
控訴
裁判所

控訴
始末
治安
輕罪
違罪

裁判所各一顆ヲ
彫刻ス

明治十四年十二月十五日
司法省丁第三十一号

本年本月甲第七號布告裁判所書渡ノ謄本又ハ被書ヲ求ムル

者代價ノ儀無資力ニシテ上納スル能ハサル者ニ限り無代價ニテ下渡スモ不替儀ト可心得此旨相達候事

治罪法第三百十五條ニヨリ裁判書ノ原本又ハ拔書ヲ求ムル者無資力ニシテ費用ヲ上納スルコト能ハサル者ニカキリ費用ヲ徴収セスシテ下附スルコト即チ明治十四年十二月甲第七号布達ノ例外ナリ

明治十四年十二月廿八日

太政官布告第七拾壹号

治安裁判所ニ於テ輕罪裁判所ヲ開ク時ハ當分ノ内其處在地ノ警部ヲシテ檢事ノ職務ヲ代理セシム
右奉勅旨布告候事

明治十四年九月二十日第四十六号布告ニヨリ治安裁判所ニ於テ輕罪裁判所ヲ開クキハ其檢察官ノ職務ハ其地ノ警部ヲシテ執行ハシムルナリ

明治十四年十二月廿八日

太政官布告第七十三号

治罪法ニ於テ無能力者法律ニ定メタル代人及ヒ民事擔當人ト稱スル者ハ左ノ通

治罪法第十二條第九十八條第一百十二條ニ無能力者及ヒ法律ニ定メタル代人ノ語所々ニ散見セリ又此布告ハ即チ無能力者ト稱スル者ハ左ノ通

無能力者

一未丁年者

二妻タル者

三白痴瘋癲人

四治産ノ禁ヲ受ケタル者

滿二十歳以下ノ未丁年者ハ自ラ財產ヲ治ルノ能力ナキ者トス又丁年ト雖モ人ノ妻タル婦人ハ萬事夫ノ管理ニ從フヘキ者ナレハ夫ノ指揮ヲ待タスニテ自ラ財產ヲ治ルノ權利ナシ

トス又白痴癡人及ヒ刑法ニヨリ治産ノ禁ヲ受ケタル者ハ
自ラ財產ヲ治罪法ニ於テ無能力者ト稱シ左ニ掲ケタル法律ニ定
メタル代八ヲ財產ヲ治ル者トスルナリ

法律ニ定メタル代人

一未丁年者ノ父若クハ母又ハ親屬後見人

二夫タル者

三白痴癡人ノ保管者

四治産ノ禁ヲ受ケタル者ノ財産管理人

未丁年者ハ父若クハ母又ハ親屬ノ後見人タル者又親屬ナラ
ハ癡人後見人タル者代テ其財產ヲ管理スル者又親屬ナラ
ハ財產ヲ支配スル者受ケタル人本ヨリ代理人執任ヲ受ケル
ニ非ラシテ法律ニ定メタル代人ト稱スルナリ事ヲ執行フ者
ナレハ

民事擔當人

一未丁年者ノ父若クハ母又ハ同居ノ親屬ニシテ監督ヲ爲ス
者

二夫タル者

三白痴癡人ノ保管者

四雇主

但雇人其雇主ノ命シタル事件ヲ行フ者

民事擔當人トハ犯罪人ノ所爲ニ付テ其責任ニシテ被害者ニ對
シテ犯人ノ所爲ヨリ生シタル損失ヲ償フヘキノ義務アリ
リ即チ未丁年者ノ父若クハ母又ハ同居ノ親屬ニシテ監督ヲ
爲ス親屬ト夫白痴癡人ノ若クハ保管者及ヒ雇主ト人ニ但シテ
カ其雇主ノ其責任ニ任スルナリ事ヲ行フル者及ヒ雇主ト人ニ
ルカ其雇主ノ其責任ニ任スルナリ

明治十四年十二月廿八日

太政官布告第七十六號

本年十月第五十三號布告裁判所名稱區劃表始審ノ行中相川

豊岡洲本田邊脇町高山西郷平戸福江巖原天草大曲八戸ノ名
稱ヲ削除シ其管轄ハ相川ヲ新瀧ニ豊岡ヲ姫路ニ洲本ヲ神戸
ニ田邊ヲ和歌山ニ脇町ヲ徳島ニ高山ヲ岐阜ニ西郷ヲ松江ニ
平戸福江巖原ヲ長崎ニ天草ヲ熊本ニ大曲ヲ秋田ニ八戸ヲ弘
前ニ合併ス

右奉勅旨布告候事

明治十四年第五十三号布告中裁判所ノ位置區劃ノ改正ナリ

明治十四年十二月廿八日

太政官布告第七十四號

治罪法中刑事ノ控訴ニ關スル條件ハ當分ノ内實施セス

右奉勅旨布告候事

當分ノ内刑事控訴ニ關スル規則ハ之ヲ實施セス由テ刑事ニ
付テハ一切控訴ヲ爲スコトヲ許サハルナリ

明治十四年十二月廿八日

太政官布告第七十七號

本年十月第五十四號ヲ以テ輕罪ニシテ豫審ヲ要セサルモノ
ニ限リ治安裁判所ニ於テ輕罪裁判所ヲ開クヲ得ヘキ旨布告
候處當分ノ内相川豊岡洲本田邊脇町高山西郷平戸福江巖原
天草大曲八戸ノ各治安裁判所ニ於テハ輕罪裁判所ヲ開
キ總テノ輕罪ヲ裁判スルコトヲ得ヘシ
但シ本文ノ場合ニ於テ訟庭内治罪ノ手續等ハ本年第五十
四號布告但書ノ通りタルヘシ

右奉勅旨布告候事

本文ニ掲ケタル地ノ治安裁判所ニ於テハ當分ノ内輕罪裁判
所ヲ開キ豫審ヲ要スルコトヲ得ルナリ
取リ又其訟庭内審判ノ手續ハ第五十四号布告但書ノ通り
取計ヲ爲シ且上訴ヲ許サハルナリ

明治十四年十二月廿八日

太政官布告第七十八號

重罪裁判所管轄區劃別紙ノ通相定メ明治十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス但治罪法第七十二條ニ從ヒ管内便宜ノ裁判所ニ於テ一ヶ處又ハ數ヶ所開廳スヘシ
右奉勅旨布告候事

重罪裁判所管轄

東京重罪裁判所管轄

東京始審裁判所管轄ノ地方

神奈川重罪裁判所管轄

横濱始審裁判所管轄ノ地方

新潟重罪裁判所管轄

新潟 高田 長岡 新發田始審裁判所管轄ノ地方

埼玉重罪裁判所管轄

浦和 熊谷始審裁判所管轄ノ地方

千葉重罪裁判所管轄

千葉 木更津始審裁判所管轄ノ地方

枋木重罪裁判所管轄

枋木 宇都宮始審裁判所管轄ノ地方

群馬重罪裁判所管轄

前橋始審裁判所管轄ノ地方

茨城重罪裁判所管轄

水戸 土浦始審裁判所管轄ノ地方

山梨重罪裁判所管轄

甲府始審裁判所管轄ノ地方
静岡重罪裁判所管轄
静岡 濱松始審裁判所管轄ノ地方
長野重罪裁判所管轄
松本 長野上田始審裁判所管轄ノ地方
大坂重罪裁判所管轄
大坂 堺 奈良始審裁判所管轄ノ地方
京都重罪裁判所管轄
園部 宮津始審裁判所管轄ノ地方
兵庫重罪裁判所管轄
神戸 姫路始審裁判所管轄ノ地方
和歌山重罪裁判所管轄

和歌山始審裁判所管轄ノ地方
滋賀重罪裁判所管轄
大津 彦根始審裁判所管轄ノ地方
徳島重罪裁判所管轄
徳島始審裁判所管轄ノ地方
岡山重罪裁判所管轄
岡山 津山始審裁判所管轄ノ地方
福井重罪裁判所管轄
福井始審裁判所管轄ノ地方
石川重罪裁判所管轄
金澤 富山 七尾始審裁判所管轄ノ地方
高知重罪裁判所管轄

高知 中村始審裁判所管轄ノ地方

愛媛重罪裁判所管轄

松山 高山 宇和島始審裁判所管轄ノ地方

長崎重罪裁判所管轄

長崎 佐賀始審裁判所管轄ノ地方

福岡重罪裁判所管轄

福岡始審裁判所管轄ノ地方

熊本重罪裁判所管轄

熊本始審裁判所管轄ノ地方

大分重罪裁判所管轄

大分 中津始審裁判所管轄ノ地方

鹿兒島重罪裁判所管轄

鹿兒島 宮崎始審裁判所管轄ノ地方 沖繩縣地方

函館重罪裁判所管轄

函館始審裁判所管轄ノ地方 開拓使札幌地方

青森重罪裁判所管轄

弘前始審裁判所管轄ノ地方

愛知重罪裁判所管轄

名古屋 岡崎始審裁判所管轄ノ地方

岐阜重罪裁判所管轄

三重 安濃津 山田始審裁判所管轄ノ地方

宮城重罪裁判所管轄

仙臺始審裁判所管轄ノ地方

福島重罪裁判所管轄

福島 若松 平 白川始審裁判所管轄ノ地方

磐手重罪裁判所管轄

盛岡 磐井始審裁判所管轄ノ地方

山形重罪裁判所管轄

山形 米澤 酒田始審裁判所管轄ノ地方

秋田重罪裁判所管轄

秋田始審裁判所管轄ノ地方

廣島重罪裁判所管轄

廣島尾道始審裁判所管轄ノ地方

山口重罪裁判所管轄

山口始審裁判所管轄ノ地方

島根重罪裁判所管轄

松江 濱田始審裁判所管轄ノ地方

鳥取重罪裁判所管轄

鳥取 米子始審裁判所管轄ノ地方

明治十四年十二月廿八日

太政官布告第七十九號

各裁判所ノ位置及管轄區畫ノ儀本年十月第五十三号ヲ以テ
布告候處北海道函館始審裁判所管内ヲ除ク并ニ沖繩縣ノ儀
ハ當分從前ノ通其管轄ニ於テ裁判シ治罪ノ手續モ便宜ノ取
計ヲ爲スヘシ(但控訴ノ儀北海道ハ函館控訴裁判所沖繩縣ハ
長崎控訴裁判所ニ屬ス
右奉勅旨布告候事

第五十三号布告ノ例外ナリ

本年十月第五十三號布告ヲ以テ各裁判所ノ位置及ヒ管轄ノ區畫改正候ニ付テハ從前布告布達中上等裁判所トアルハ控訴裁判所地方裁判所トアルハ始審裁判所區裁判所トアルハ安治裁判所ト改マリ候儀ト心得ヘシ

右布達候事

明治十五年一月九日

太政官布告第壹號

治罪法第三百八十壹條第壹項ニ若シ辯護人ナクシテ辯論ヲ爲シタルキハ刑ノ言渡ノ効ナカルヘシト有之候得共其裁判所處屬ノ代言人無之場所ニ於テハ當分ノ内辯護人ヲ用ヒサルモ其刑ノ言渡ハ無効ノ限ニ在ラス
右奉勅旨布告候事

當分ノ内代言人無之地方ニ限リ重罪公判ニ弁護人ヲ用ヒサルモ其言渡ノ有効タル旨ヲ定メタルナリ

明治十五年二月一日

太政官布告第七號

治罪法第十九條第二項海上路程ノ猶豫ハ陸地四里ノ割合ヲ以テ一日ヲ加フル者ト定ム

右奉勅旨布告候事

治罪法第十九條第二項ニ嶋地又ハ外國トノ路程ノ猶豫ハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ムトアリ此布告ハ即チ嶋地及ヒ外國トノ海上路程ノ猶豫ヲ四里コトニ一日ヲ加ユル者ト定メタルナリ

明治十五年二月六日

司法省丙第四號

治罪法ニ定メタル拘引狀ノ期限ニハ總テ休暇ノ日ヲ算入ス可ラス但平常休暇ナキ官署ニ付テハ此例ヲ用ヒサル儀ト心

得ヘシ

此旨相達候事

治罪法第百二十二條ニ勾引狀ヲ發シタル被告ハ四十八時
内ニ之ヲ訊問スルモ但シトモ此期ニハ休暇ノ算入スルナリ
又ル勾引狀ニ付テハ休暇ノ日ヲモテ期限ニハ算入スルナリ

百十

刑法治罪法註解大成附錄終

明治十六年七月十六日 續刻御届
同 年八月 出版

〔定價金貳圓三十錢〕

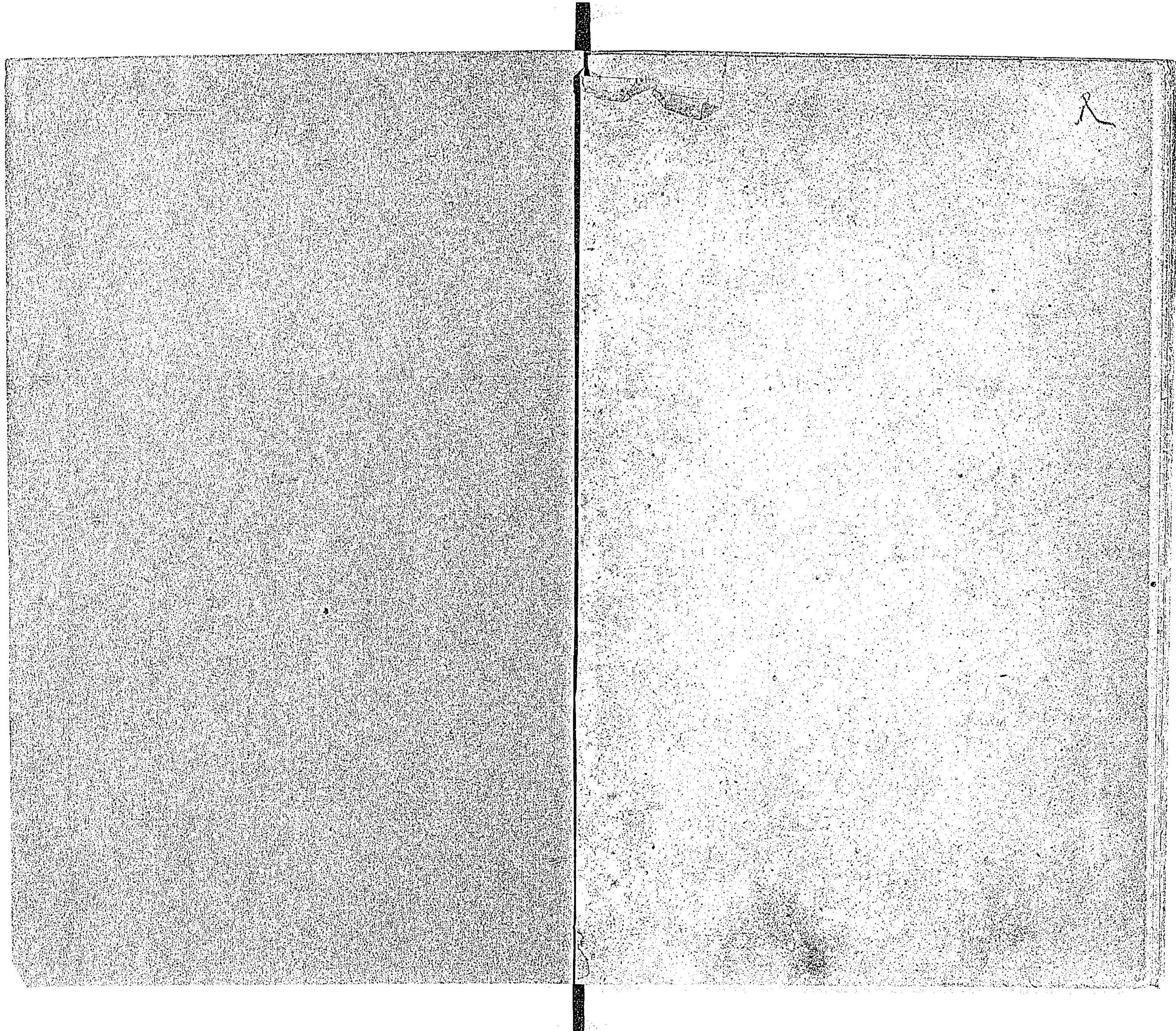
原 版 人

大坂府下 松村九兵衛

續 刻 人

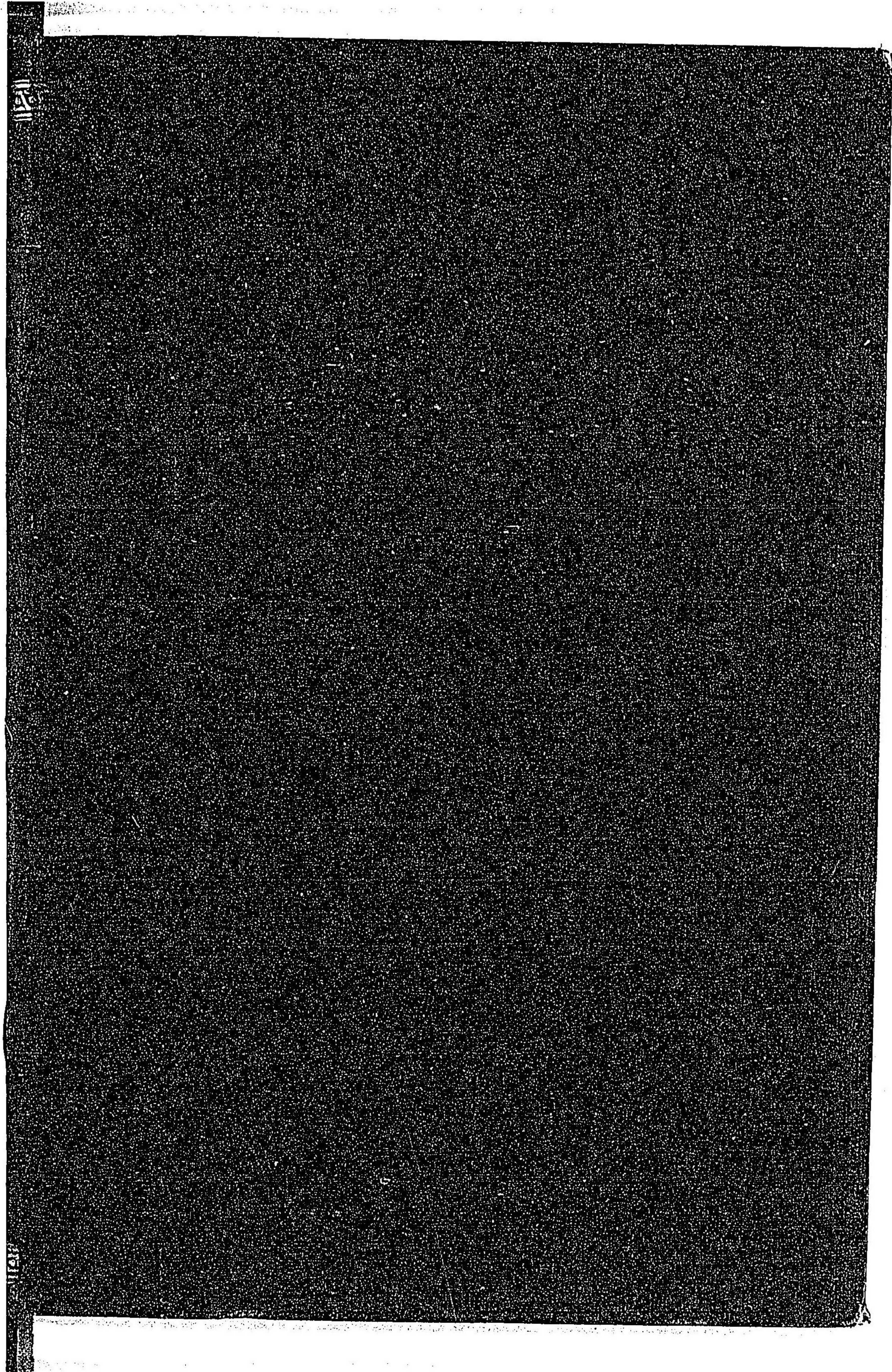
京都府士族 西山義忠

丹波國南桑田郡龜岡矢田町
二十二番戸



30

116



30
116

M

035867-000-8

30-116

刑法治罪法註解大成

森 作太郎 / 著

M15

BBP-0453



15.7.29